

■ 成果指標

指標	単位	現状値		実績値				目標値
				R4	R5	R6	R7	
1	都市拠点における新規出店数	件	—	—	2			8
2	商工業団体等による商工業活性化に向けた取組件数	件	—	—	1			4
3	地域ブランドの認定件数	品目	17	R3	34			57
4	創業件数	件	—	—	11			12
5								
6								
7								
8								

■ 市民アンケート調査

項目		現状値 [R2]	1次 [R5]	2次 [R6]	市民アンケートの考察
1	日常の買い物がしやすい	重要度 1.39			
		満足度 0.22			
2	外食や宴会等を行う場所が充実している	重要度 0.58			
		満足度 ▲ 1.01			
3		重要度			
		満足度			
4		重要度			
		満足度			

■ 施策推進 [施策の方向]

施策の方向	施策推進に関する考察
① にぎわいのある商業地域の形成	空き店舗等活用支援事業により、都市機能誘導区域での新たな創業を支援した。亀山駅前や大型商業施設との回遊性を高め、にぎわいのある商業地域の形成を目指す。
② 多様な主体による一体的な商工業活性化の促進	商工関係団体や労働関係団体が様々な活動うため、財政的支援を行った。今後も、商工会議所と連携した支援で、商工業団体の組織力や団体間の一層の連携強化を図る。
③ 事業者の経営安定化と事業活動の活性化	商工会議所と連携して小規模事業者へ経営支援を行った。亀山ブランドと観光を連動させてPRすることで、生産者の生産・販売意欲を高め、地域活性化に繋げることができた。
④ 新たなビジネスの創出	創業セミナーや利子補給など、創業者支援メニューが有効活用された。創業者の負担軽減と経営安定を継続して図り、にぎわいのある商業地域を形成していく。
⑤	
⑥	
⑦	

総合評価

創業セミナーや空き店舗等活用支援事業など、創業者等への制度の定着と有効活用が図れてきたとともに、小規模事業者等経営支援事業による個別の経営相談、創業資金利子補給制度や保証料補給制度の実施により、創業者の負担軽減と経営の安定化を図るなど、にぎわいのある商業地域の形成や新たなビジネスの創出に向けて、概ね順調に進んでいる。また、商工関係団体や労働関係団体への財政的支援を行うと同時に、商工会議所と連携した支援により商工業団体の組織力や団体間の一層の連携強化を図るなど、多様な主体による一体的な商工業活性化の促進に向けて取り組んだ。事業者の経営安定化と事業活動の活性化については、新型コロナウイルス感染症やエネルギーなどの物価高騰による事業者への負担軽減や地域経済の循環を図るため、プレミアム付デジタル商品券事業やエネルギー価格高騰対策事業を実施した。特にプレミアム付デジタル商品券事業については、二次販売における販売方法の不手際で混乱を招いたものの、デジタル化の推進及び地域経済の循環を図ることができた。さらに、亀山ブランドと観光を連動させて市の特産品をPRすることで、生産者の生産・販売意欲を高め、産業振興と地域活性化につなげることができた。基本施策に設定する成果指標において、地域ブランドの認定件数や創業件数が目標を超えるペースであり、総合的には基本施策が目指す姿に向けて順調に進めることができたと考えられる。

A

順調に進んだ

今後の展開方針

創業セミナーや空き店舗等活用支援事業など、創業者等への制度の定着と有効活用が図られてきていることから、引き続き亀山商工会議所と連携し、積極的に創業にかかる支援体制や相談体制の情報を発信し、創業意欲効果の向上につなげる。また、創業セミナーに参加された人からの意見や他市の先進事例も参考にしながら、創業にチャレンジできる環境づくりについて検討していく。一方、地域経済の活性化については、依然としてエネルギーなどの物価高騰が事業者に大きな影響を与えていることから、必要な対策を的確に講じていく。さらに、亀山ブランドについては、ふるさと納税や観光プロモーションなど他の事業とも連動させながら、特産品の販路拡大や特産品の発掘から販路確保までを一貫して支援するとともに、事業者と一緒に市内外に向けて更なるPRに取り組んでいく。